

平成27年度 第1回留萌川減災対策部会

交通政策審議会気象分科会提言

# 「新たなステージ」に対応した防災気象情報と 観測・予報技術のあり方

平成28年3月25日  
旭川地方気象台

## 「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方(背景)

(報道発表：平成27年1月20日 国土交通省)

### 【新たなステージに対応した防災・減災対策のあり方】

- 雨の降り方が局地化・集中化・激甚化していること等を「新たなステージ」と捉え、危機感を持って防災・減災対策に取り組んでいくことが必要。
- 命を守るため、「心構え」の醸成と「知識」の充実（災害リスクの認知度と避難力の向上）とともに、避難を促す状況情報の提供、避難勧告等の的確な発令のための市町村長への支援、大規模水害等における広域避難や救助等への備えの充実が必要。



「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方について平成27年3月以降 交通政策審議会気象分科会で審議を行った。

## 「新たなステージ」に対応した防災気象情報と観測・予測技術のあり方(審議の経過)

### 【気象庁の取組の現状と課題】

- 気象庁は最新の科学技術を取り入れ、「防災気象情報」を提供。
- 平常時から、都道府県等と連携し、市町村の防災対策を支援し、住民の自助・共助意識の醸成等にも取り組んでいる。
- 防災気象情報は、市町村では避難勧告等の判断材料として、住民はさらなる情報入手や安全確保行動のきっかけとして利用。
- 市町村からは、より精度が高く、きめ細やかで、危険度の違いが分かりやすい情報の提供が求められている。

### 【現状の予測技術の水準】

- 台風及びその周辺域での広域な雨量の、数日先までの予測は、精度に限界がある。
- 集中豪雨を、市町村単位で発生場所、時刻を特定して予測することは困難。
- 局地的な現象を精度よく予測することは困難で、大規模な現象であっても、予測期間が長くなるほど、不確実性が増大する。

これらを踏まえて

現状と課題の整理を行ったうえで、現在の技術で実現可能な**防災気象情報の改善**と中長期的に取り組むべき**観測・予測技術向上**の取組の方向性を中心に議論

交通政策審議会気象分科会の提言を受けて気象庁が目指す方向性

## 「新たなステージ」に対応した防災気象情報と 観測・予測技術のあり方

(平成27年7月29日 交通政策審議会気象分科会提言)

### 防災気象情報

- 可能性が高くないとも、社会に大きな影響を与える現象が発生するおそれを積極的に発表
- 危険度やその切迫度を分かりやすく提供

#### 早急に実現可能な改善策

- ① 翌朝までの「警報級の現象になる可能性」の提供
  - ② 実況情報の迅速化
  - ③ メッシュ情報の充実・利活用促進
  - ④ 時系列で危険度を色分けした分かりやすい表示
  - ⑤ タイムライン支援のため数日先までの「警報級の現象になる可能性」の提供
- 市町村等への支援や住民への普及啓発活動の継続
  - 分かりやすい防災気象情報となるよう不断の見直し

### 観測・予測技術

- 観測・予測技術は防災気象情報の基盤

#### 概ね10年先を見据えた取組

- ・ 積乱雲： ひまわり8号の利用技術、次世代気象レーダーの導入や利用技術
- ・ 集中豪雨： 水蒸気の観測、メソアンサンブル予測技術※
- ・ 台風： 強度予報の延長、進路や雨・高潮等の予測の改善

- 研究～実用化まで担う気象庁の総合力の発揮
- 国内外の関係機関との更なる連携の促進
- スーパーコンピュータシステム等の業務基盤の維持・機能向上



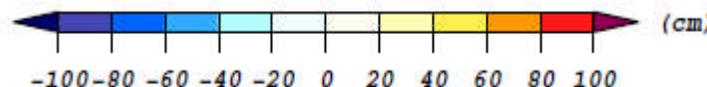
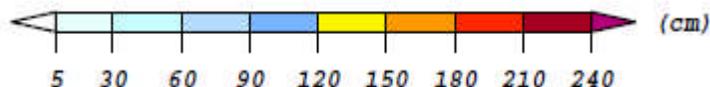
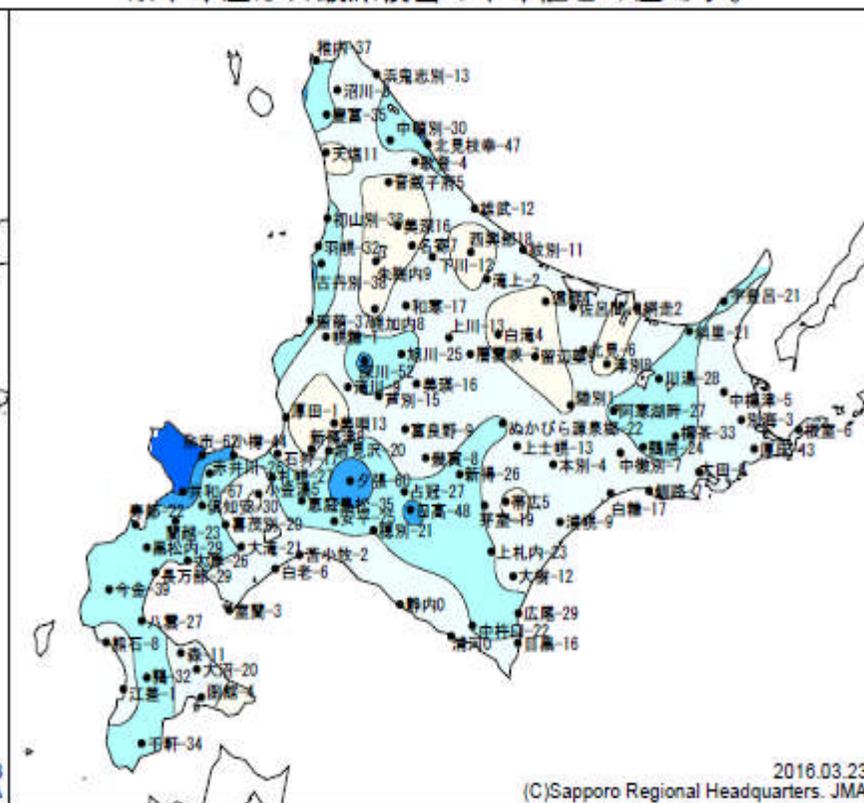
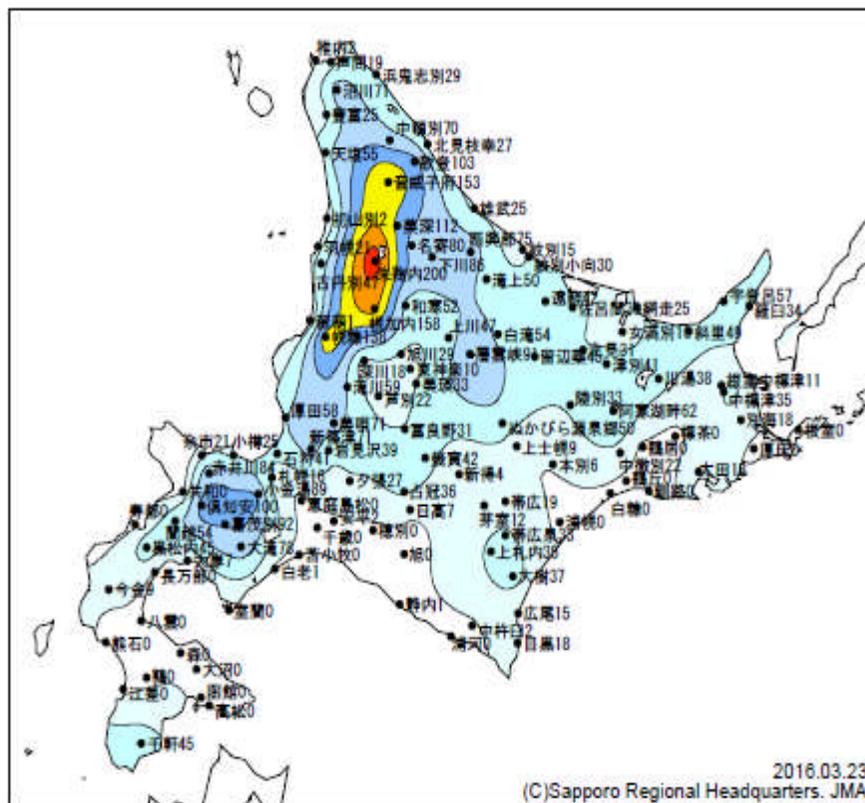
# 今冬期における雪の状況

## 積雪速報

平成28年3月23日  
札幌管区气象台

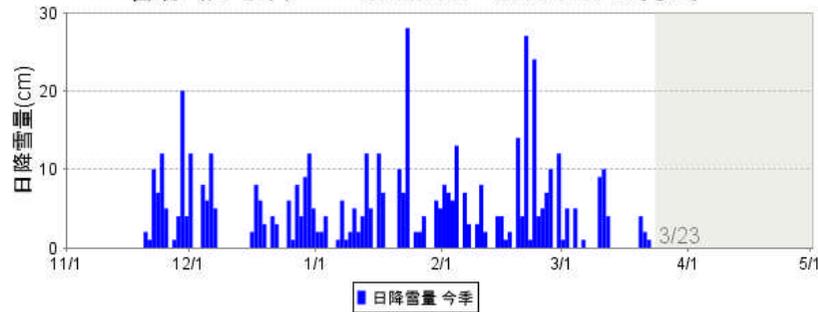
積雪の深さ(9時:cm)

積雪の深さの平年差(9時:cm)  
※平年差は日最深積雪の平年値との差です。

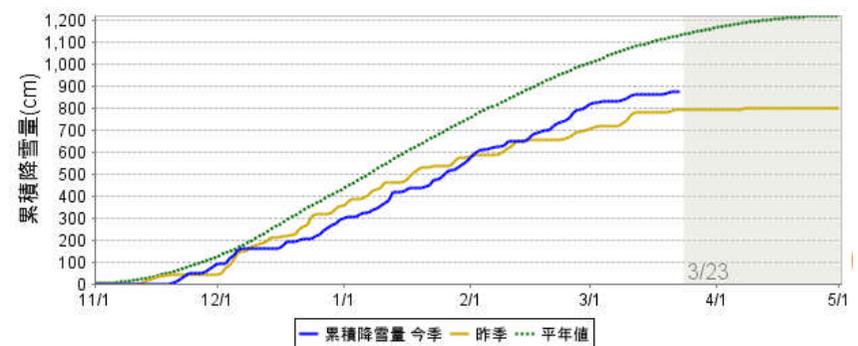
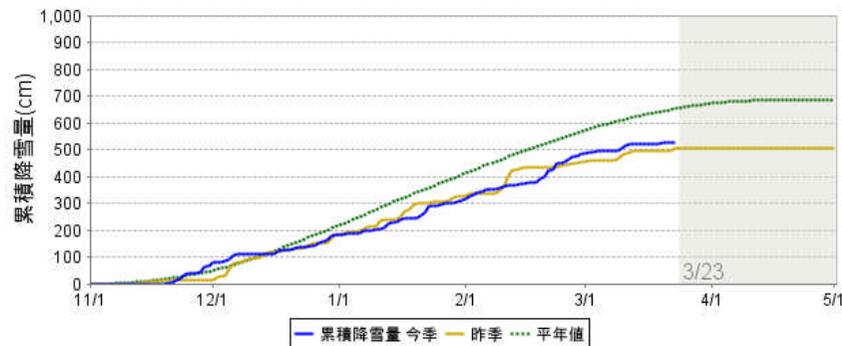
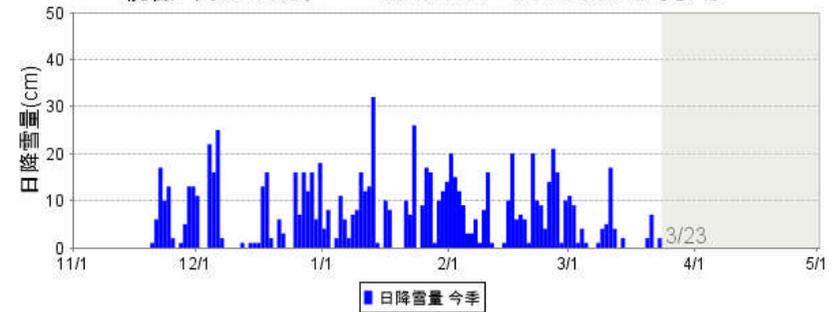


# 今冬期における雪の状況

留萌（ルモイ） 2015/11/1～2016/3/23 9時まで



幌糠（ホロスカ） 2015/11/1～2016/3/23 9時まで



## 北海道地方 1か月予報

(3月19日から4月18日までの天候見通し)

平成28年3月17日  
札幌管区气象台 発表

## &lt;予想される向こう1か月の天候&gt;

向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

北海道日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。北海道オホーツク海側・太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

週別の気温は、1週目は、北海道日本海側・オホーツク海側で平年並の確率50%、北海道太平洋側で平年並または高い確率ともに40%です。2週目は、平年並の確率50%です。

## &lt;向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)&gt;

【気温】北海道地方	30	30	40
【降水量】北海道地方	30	40	30
【日照時間】北海道地方	30	40	30

凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

## &lt;気温経過の各階級の確率(%)&gt;

1週目	北海道日本海側	20	50	30
1週目	北海道オホーツク海側	20	50	30
1週目	北海道太平洋側	20	40	40
2週目	北海道地方	30	50	20
3~4週目	北海道地方	30	30	40

凡例: ■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

## &lt;予報の対象期間&gt;

1か月 : 3月19日(土)~ 4月18日(月)  
 1週目 : 3月19日(土)~ 3月25日(金)  
 2週目 : 3月26日(土)~ 4月1日(金)  
 3~4週目 : 4月2日(土)~ 4月15日(金)

平年値 (旬)	留萌			幌糠		
	気温	降水量	日照	気温	降水量	日照
3月下旬	1.2	14.2	54.8	-0.4	24.7	50.8
4月上旬	3.8	11.7	54.8	2.0	16.5	54.5
4月中旬	5.4	14.5	59.6	3.8	20.6	56.3

## 予報のポイント

- 高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 向こう1か月の平均気温・降水量・日照時間は、ほぼ平年並の見込みです。

## 週別の天候

(1週目) 3/19~25	(2週目) 3/26~4/1	(3~4週目) 4/2~15
気圧の谷や寒気の影響により曇りや雪や雨の降る日があるでしょう。	高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。 日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 オホーツク海側・太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。	高気圧と低気圧が交互に通る見込みです。 日本海側・オホーツク海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。